アルカゲルーM

アルギン酸を主成分とした環境にやさしい加泥材

アルギン酸ナトリウムは海藻のコンブの一種から抽出されたもので、食品の添加物として利用されている、安全性の高い物質です。このアルギン酸ナトリウムを主成分とした**アルカゲルーM**は、アルギン酸ナトリウムの増粘材とした働きにより掘削残土に良好な流動性を付加し、一般の泥土圧シールドの加泥材として優れた性状を有します。

加泥材としての特徴

Ⅰ. アルギン酸の持つ粘性により掘削土に良好な流動性を与えることができます。

Ⅱ. カッタートルク、ポンプ圧力等を低減する傾向が見られます。

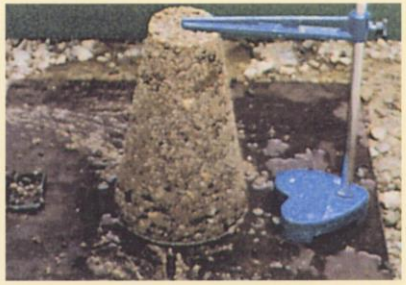
Ⅲ. 増粘材を加える事によって粘性の調整も容易であり、種々の地盤への適用が可能です。

Ⅳ. 加泥材を含んだ流動性残土に凝集反応材（アルカゲル-S）を添加することによって良質土に改善され、そのままダンプトラック等で搬出される状態になります。

加泥材添加後

スランプ値：SL=21㎝

反応材添加後



スランプ値：SL=1㎝

アルカゲルーMの標準配合

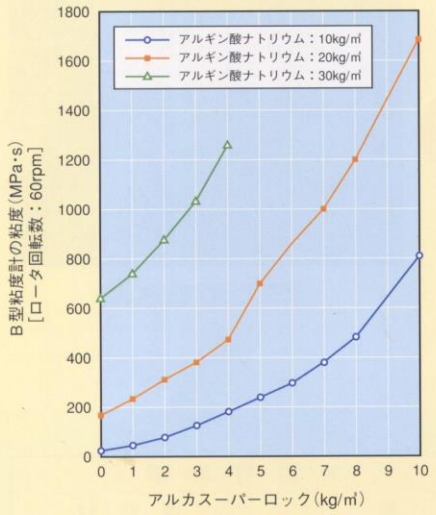
加泥材・改質材 ＼ 地山の粒度分布	作液濃度 アルカゲルーM kg/m³	作液濃度 アルカスーパーロック kg/m³	注入率 %	改質材 アルカゲルーS L/地山m³
5 ＞$P_{0.075}$	10.0	5.0	10.0	5.0
10 ＞$P_{0.075}$≧ 5	10.0	2.0	15.0	5.0
15 ＞$P_{0.075}$≧ 10	10.0	1.0	20.0	5.0
$P_{0.075}$≧ 15	10.0	0.0	25.0	5.0

※$P_{0.075}$は0.075mm粒径通過質量百分率[%]

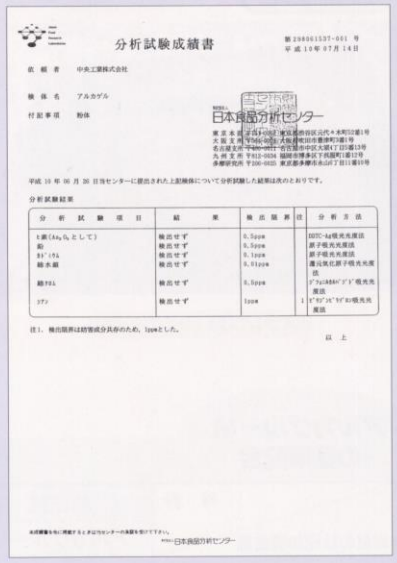
アルカゲルーMの配合(例)

配合			添加後の性状
対象土	砂礫層		
加泥剤	アルカゲルーM	10 kg/㎥	加泥剤混入後：スランプ L＝21cm
	増粘剤	7 kg/㎥	
	水	988 kg/㎥	
	添加率	15％	
凝集反応剤：アルカゲルーS 40％水溶液		添加率：0.5％	凝集反応後：スランプ値 L＝1 cm

アルカゲルーMの粘度特性



アルカゲルーMの計量証明書



分析試験成績書

依頼者　中央工業株式会社

検体名　アルカゲル

付記事項　粉体

日本食品分析センター

平成 10 年 06 月 26 日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	分析方法
1.鉄(Fe_2O_3として)	検出せず	0.5ppm		DDTC-Fe吸光光度法
銅	検出せず	0.5ppm		原子吸光光度法
ﾍﾞﾘｳﾑ	検出せず	0.1ppm		原子吸光光度法
総水銀	検出せず	0.01ppm		還元気化原子吸光光度法
総ｸﾛﾑ	検出せず	0.5ppm		ｼﾞﾌｪﾆﾙｶﾙﾊﾞｼﾞﾄﾞ吸光光度法
ｼｱﾝ	検出せず	1ppm	1	ﾋﾟﾘｼﾞﾝﾋﾞﾗﾄﾞｵﾝ吸光光度法

注1. 検出限界は妨害成分共存のため、1ppmとした。

以上

本成績書を他に掲載するときはセンターの承認を受けて下さい。

日本食品分析センター

大興物産株式会社
TAIKO TRADING CO., LTD.

営業本部土木営業部
〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-1-17
神谷町プライムプレイス
TEL03-6381-5208
FAX03-6381-5238

代理店